

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 MUTOHホールディングス株式会社
 コード番号 7999 URL <http://www.mutoh-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部 部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 早川 信正
 (氏名) 阿部 利彦

TEL 03-6758-7100

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	17,086	4.3	1,153	3.8	1,278	△21.7	2,639	133.0
26年3月期第3四半期	16,384	26.4	1,110	—	1,631	365.0	1,132	502.2

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 3,875百万円 (82.2%) 26年3月期第3四半期 2,126百万円 (494.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	57.50	—
26年3月期第3四半期	24.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	32,995	25,241	73.8	530.46
26年3月期	32,953	21,446	62.9	451.33

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 24,346百万円 26年3月期 20,719百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,200	0.4	1,400	△14.2	1,500	△25.6	2,800	16.7	54.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期3Q	54,818,180 株	26年3月期	54,818,180 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期3Q	8,920,604 株	26年3月期	8,911,813 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	45,903,278 株	26年3月期3Q	45,922,850 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、連結業績予想に関する事項は、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、米国経済においては依然として堅調に推移しているものの金融緩和政策の終了により市場に警戒感が生じ、欧州地域においては長引く景気低迷と物価下落からデフレ懸念が強まる傾向にあり、また、中国をはじめとするアジア新興国においては、先進国を上回る成長率を維持しているものの、その成長率は前年並みに留まるなど成長鈍化が懸念されています。国内経済においては、製造業を中心に企業業績は円安、原油安を背景として堅調な推移が続く一方、消費増税に伴う個人消費の低迷はいまだに継続しており、円安による原材料コストの上昇要因などから一部では景気後退が懸念され始めております。

このような状況の中、当社グループは事業構造の強化を推進してまいりました。

主力事業である大判インクジェットプリンタ事業では、10月に米国ラスベガスで開催された世界最大規模を誇るSGIA (Specialty Graphic Imaging Association) Expoで、大判インクジェットプリンタ「Value Jet (バリュージェット)」シリーズが3年連続で“PRODUCT OF THE YEAR”を受賞するなど、国内外において高い評価を得ております。今後はさらなるブランド力の強化、事業規模の拡大と収益増大に向け純正インク事業の強化に取り組んでまいります。第2の主力事業と位置付ける3Dプリンタ事業においては、製品開発の強化を加速させ、自社開発ヘッドを搭載したパーソナル3Dプリンタ「Value 3D Magi X MF-500」を新たに市場に投入し、同様にバージョンアップ版として「MF-1100」の発売を開始いたしました。また、ハードだけではなく、PLA専用サポート材として、水溶性の新素材「PVA (=ポリビニルアルコール)」フィラメントの発売、パーソナル3DプリンタMFシリーズのアカデミーサポートパックを開始するなどトータル3Dプリンティング事業の強化を推進してまいりました。なお、直近では、他社にない新しい発想に基づくプロダクションタイプの3Dプリンタ「アーク溶接金属3Dプリンタ」を発表、大きな反響を呼んでおり今後の事業拡大に寄与するものと考えております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、国内・海外拠点における収益構造の強化に加え、円安に推移した為替環境の好転など当社グループを取巻く事業環境の改善から、売上高は170億86百万円（前年同期比4.3%増）となり、営業利益は11億53百万円（前年同期比3.8%増）、経常利益は12億78百万円（前年同期比21.7%減）となりました。また、平成26年4月1日付で厚生労働大臣より厚生年金基金代行部分（過去分）返上の認可を受けたことにより、代行返上益として27億51百万円を特別利益に計上したことに伴い当期純利益は26億39百万円（前年同期比133.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産は329億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ41百万円の増加となりました。

流動資産は213億31百万円となり、9億81百万円の増加となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金の減少11億15百万円、たな卸資産の増加22億37百万円等であります。

固定資産は116億63百万円となり、9億39百万円の減少となりました。その主な要因は、期末時価評価による投資有価証券の増加4億75百万円、繰延税金資産の減少14億20百万円等であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は77億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ37億53百万円の減少となりました。

流動負債は56億10百万円となり、3億39百万円の減少となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の増加2億29百万円、未払法人税等の減少5億4百万円、未払金の減少1億58百万円、製品保証引当金の増加70百万円等であります。

固定負債は21億43百万円となり、34億13百万円の減少となりました。その主な要因は、厚生年金基金の代行部分返上などによる退職給付に係る負債の減少34億28百万円等であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は252億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ37億94百万円の増加となりました。その主な要因は、当期純利益の計上26億39百万円、その他有価証券評価差額金の増加3億9百万円、退職給付に係る調整累計額の増加5億11百万円、為替換算調整勘定の増加3億74百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期連結累計期間の業績は、当社グループを取り巻く経営環境は欧州での景気減速が確認され、米国の金融緩和の終了後の警戒感とアジア新興国地域での成長鈍化から不透明感が増す中、日銀による追加金融緩和策の実施と円安水準を受け製造業を中心に企業業績は表面的には堅調に推移しながらも、東欧や中東地域などの政情不安による地政学リスクが強く懸念されています。

通期連結業績予想につきましては、当社グループを取り巻く事業環境は依然として弱含みな要素が多く不透明な状況ながら、将来を見据えた製品開発の強化を加速させながらも積極的な販売活動と継続的な経費削減等の推進による増益を見込み、平成27年2月9日に業績予想の修正を行いました。

なお、通期業績算定における為替レートにつきましては、平均レートを1米ドル110円、1ユーロ135円に修正いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、第1四半期連結会計期間において、株式会社ムトーフィギュアワールドを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が55,263千円減少し、利益剰余金が26,745千円増加し、少数株主持分が6,298千円増加しております。また、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,730,155	9,038,752
受取手形及び売掛金	4,832,173	3,716,338
商品及び製品	2,312,392	3,208,877
仕掛品	147,650	176,011
原材料及び貯蔵品	1,764,957	3,077,556
繰延税金資産	497,061	637,681
その他	1,141,691	1,553,524
貸倒引当金	△75,847	△77,136
流動資産合計	20,350,236	21,331,606
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,048,919	2,966,324
機械装置及び運搬具(純額)	89,720	89,454
工具、器具及び備品(純額)	208,736	207,924
土地	5,090,139	5,095,501
リース資産(純額)	61,553	49,187
建設仮勘定	—	9,567
有形固定資産合計	8,499,068	8,417,959
無形固定資産		
その他	173,719	184,607
無形固定資産合計	173,719	184,607
投資その他の資産		
投資有価証券	1,997,306	2,472,961
差入保証金	64,954	96,011
繰延税金資産	1,857,718	437,008
その他	22,701	66,941
貸倒引当金	△11,969	△11,975
投資その他の資産合計	3,930,710	3,060,946
固定資産合計	12,603,498	11,663,513
資産合計	32,953,735	32,995,119

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,512,951	3,742,021
未払金	493,761	335,202
未払法人税等	626,067	122,032
賞与引当金	131,470	70,943
製品保証引当金	255,232	325,971
その他	930,267	1,013,949
流動負債合計	5,949,749	5,610,120
固定負債		
繰延税金負債	116,635	198,363
退職給付に係る負債	5,049,770	1,621,520
役員退職慰労引当金	42,033	43,195
その他	348,692	280,585
固定負債合計	5,557,132	2,143,664
負債合計	11,506,881	7,753,785
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,199,013	10,199,013
資本剰余金	4,181,901	4,182,296
利益剰余金	10,684,687	13,121,494
自己株式	△2,334,496	△2,339,053
株主資本合計	22,731,106	25,163,751
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	219,253	528,862
為替換算調整勘定	△1,455,758	△1,081,259
退職給付に係る調整累計額	△775,472	△264,449
その他の包括利益累計額合計	△2,011,977	△816,846
少数株主持分	727,723	894,429
純資産合計	21,446,853	25,241,334
負債純資産合計	32,953,735	32,995,119

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	16,384,172	17,086,851
売上原価	10,575,037	10,564,150
売上総利益	5,809,135	6,522,701
販売費及び一般管理費	4,698,701	5,369,557
営業利益	1,110,433	1,153,143
営業外収益		
受取利息	10,003	7,642
受取配当金	9,903	10,925
為替差益	468,252	98,477
持分法による投資利益	31,000	12,332
その他	10,423	6,749
営業外収益合計	529,583	136,127
営業外費用		
支払利息	3,755	3,170
売上割引	4,070	4,541
その他	275	3,096
営業外費用合計	8,100	10,808
経常利益	1,631,916	1,278,463
特別利益		
固定資産売却益	318	913
投資有価証券売却益	98,800	21,048
株式交換差益	14,705	—
受取保険金	5,650	—
厚生年金基金代行返上益	—	2,751,715
特別利益合計	119,474	2,773,676
特別損失		
固定資産売却損	—	678
固定資産廃棄損	386	6,163
投資有価証券売却損	80	—
たな卸資産評価損	32,742	—
特別損失合計	33,209	6,841
税金等調整前四半期純利益	1,718,181	4,045,298
法人税等	555,886	1,389,243
少数株主損益調整前四半期純利益	1,162,295	2,656,055
少数株主利益	29,617	16,462
四半期純利益	1,132,678	2,639,592

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,162,295	2,656,055
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	168,234	293,110
為替換算調整勘定	744,653	369,771
退職給付に係る調整額	—	530,546
持分法適用会社に対する持分相当額	51,372	25,646
その他の包括利益合計	964,260	1,219,075
四半期包括利益	2,126,556	3,875,130
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,088,064	3,834,723
少数株主に係る四半期包括利益	38,491	40,406

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。